

事例3

(財)札幌市在宅福祉サービス協会西事業所 えがお見守り隊

(財)札幌市在宅福祉サービス協会西事業所は、西区内でホームヘルパーを高齢者宅などに派遣したり、ケアプランの作成や要介護認定業務を行っている事業所です。社会貢献活動の一環として、ホームヘルパーやケアマネジャー約百人が徒歩や自転車で高齢者宅などを訪問する際(延べ月に四千回)に、「えがお見守り隊」として地域をパトロールしています。



▲黒いリュックサックに腕章がよく目立ちます。訪問先でも話題になり、コミュニケーションにも役立っているそうです。

「私たちの仕事は観察に始まり観察に終わる仕事。仕事で培った観察眼が地域でも発揮できれば」と千葉久美子(ちのぶくみこ)所長。「地域の中で仕事をさせていたでいているので、恩返しのできる気持ちもありますが、私たちも家に帰れば地域の住人。自分たちの安全にもつながっているのです」と活動の意義を話してくれました。



▶「活動を始めてから、地域や人々をよく見るようになって、まちへの愛着が増えました。いろんな方に参加してもらいたいですね」(西ヘルパーセンターサービス提供責任者の真保角さん；写真左から4番目)

事例4

西区役所

西区役所では、自主防犯パトロールなどを行っている団体の防犯活動を結び付け、地域社会が一体となって見守りの輪を広げ、防犯に取り組めるよう、平成十八年に「西区子どもの見守りネットワーク会議」を設立しました。同会議には、町内会や企業、学校など百三十四団体(八月末現在)が加入し、防犯活動で得られた情報をお互いに交



換しています。

事例1〜3で紹介した

各団体も加入しています。

【詳細】西区総務企画課地域安全担当 TEL(641)2400 内線219



▲西区役所では、すべての公用車に防犯ステッカーを装着しています。うち1台は、自主防犯活動用自動車として警察の認定を受けて青色回転灯を載せ、防犯パトロールの一役を担っています。



▶地域防犯ガイドブック「みんなで参加! 地域の防犯まちづくり」を西区役所で配布中です。概要版もあります。